

農業分野における「デザイン経営」の仕組みづくり支援事業 「失敗しない6次産業化」サポート事業

たくさんの6次産業化事業が先行していますが、必ずしも全ての事業が成功しているわけではありません。

お客様を
はっきり決める

いい商品より
「欲しい」商品

小ロットの
トライアルからスタート

この「失敗しない」チャレンジを通じて異業種で活用される『デザイン経営』を活かし
地域発の農産物の商品・サービスの開発、販路開拓などのチャレンジを支援します。

ポイント① どんなお客様に何を、どのように提供し、喜んでいただくか、商品の特長はニーズに合致しているか、どのように利益を得るか、などを考え商品作り（試作品）にトライできます。

ポイント② 商品作りの各段階の支援が無料です。例えば、新商品作りや既存製品のバージョンアップに必要な加工、パッケージデザイン、ブランド作り（商標相談）から販路開拓を無料で支援します。

支援の項目（例）

- ・商品作りに必要な加工（一次加工及び二次加工）
- ・パッケージング+商品ラベルデザイン（農福連携を用いた手法）
- ・ブランド名作り（商標相談） ・ 食品安全性・機能性の検査
- ・販路開拓への支援（ネットも含む）

「デザイン経営」成功事例

日本一のタオル産地は、1990年代から2000年代にかけて安価な外国産タオルの輸入が増加し厳しい状況にありました。そんな中、あるプロジェクトが発足し、お客様の本当に必要としているタオルとは何か、具体的なニーズは何かという課題に対して「安心・安全」が第一であることを調べ上げました。その結果を基に、「安心・安全」に応えられる機能（優れた吸水性と高い安全性）を備えたタオルを作ることを目指しました。

さらに、これらの機能に基準を設け、その基準をクリアした製品に特別のブランドマーク・ロゴを付けて、上質なタオルとしてブランド化を図りました。そして、お客様への積極的なアプローチとして国内外の見本市への出展やメディアでの紹介など様々な取り組みが行われ、日本有数のブランドに育っています。

Step 1. ワイワイガヤガヤ会セミナー 開講

令和2年8月6日（木）14時30分～17時
京都リサーチパーク 東地区1号館4階 G 会議室
（京都市下京区中堂寺南町 134）

参加費
無料

ZOOM
参加可

1.最先端のノウハウを学ぶ&本事業の説明

- ① 『農業分野における「デザイン経営」の仕組み作りへの支援事業』の説明
- ② 異業種の経営を成功に導いている「デザイン経営」とは

講師：有限会社アイ・シー・アイデザイン研究所 代表取締役 飯田 吉秋 氏

③農業のブランド手法について

- ◎～お客様の「口」から逆算した商品サービスづくり～
- ◎お客様のライフスタイルに沿った農産物の商品化の事例

講師：株式会社ただいま 代表取締役 佐藤 翼 氏

2.支援の情報提供

- ◎試作/知財等について

3.質疑応答・個別ヒアリング等

- ◎お客様のニーズを満たすための農業の課題（農産物、消費者（B2B・B2C）、販売チャンネル等）



主催 （一社）京都発明協会・（一社）大阪発明協会・（一社）和歌山県発明協会
後援 （一社）京都府農業会議

詳細ならびに
お申込みは裏面へ>>>

デザイン経営とは

デザインは、企業が大切にしている価値、それを実現しようとする意志を表現する営みである。供給側の思い込みを排除し、対象に影響を与えないように観察する。そうして気づいた潜在的なニーズを、企業の価値と意志に照らし合わせる。誰のために何をしたいのかという原点に立ち返ることで、既存の事業に縛られずに、事業化を構想できる。このようなデザインを活用した経営手法を「デザイン経営」と呼ぶ。

(経済産業省・特許庁「デザイン経営 2018」より要約)

Step 1. 農家の思いを聞く・デザイン経営を聞く

聞く

8月

■ワイワイガヤガヤ会セミナー

- ・「デザイン経営」とは何かを異業種の紹介を通じて学ぶ。
- ・農業のブランド手法でどんなお客さんに何を、どのように提供し、喜んでいただくか、商品の特長はそれに合致しているかを紹介し、商品開発を実践に移すための理解を深める。
- ・商品開発の課題を明確化する。

Step 2. 課題をまとめる

調べる

8月～9月

農産品または加工品を作る農業者やそれを購入する消費者やバイヤーが抱える課題をヒアリング・分析しプロジェクトに参加する農業者とともに課題を共有し、解決すべき課題のレベルまで昇華させる（課題の明確化）。

- マーケットリサーチ（SNS等）農産品または加工品を作り手や消費者（B2C、B2B）が抱える課題などを実地に調査。（マーケティング・広報を含む）

Step 3. アイデア、価値を出しまとめる・社会、市場傾向を加味

考える

試す

9月～1月

■「デザインシンキング」を学ぶ：『商品の価値をかんがえるを考える』

■商品作り（試作品）

- ・農業者の考える価値、消費者の注目する価値、社会・環境要因（食品ロス低減等）により価値等を考慮した商品作り（試作品）。
- ・パッケージのあり方（消費者へのアピール、障害者活躍場提供）、ネットを含めた販路等を検討し、競争力ある商品構想を練り上げる。実際にものづくりを行う。

■専門家味見会 味見を行い商品構想との差のチェック。

■食品検査・栄養分析の実行

■ブランド名商標出願&デザイン意匠出願

- ・知的障害者との連携による商品ラベルやパッケージのデザイン制作（障害者活躍場提供）。
- ・ブランド名の商標出願への支援、その他権利化または秘匿すべき知的財産を明確にし適切に支援。

Step 4. 試作品で市場テスト

見せる

2月

■セミナー&成果発表会ならびに試食会

- ・プロジェクトを体験した農業者の試作品の発表と支援者による体験発表
- ・試作品の提供
- ・来場者による試作品の最終調査・評価

会場：(仮) 京都経済センター3階 KOIN+3-H 会議室

参加者：70～80名(想定)

※新型コロナウイルス感染症拡大対策により、状況によっては ZOOM 開催等に変更する場合があります。

＜お申込み＞ 申込みフォームまたは、メールにてお申込みください。但し、Step.1～4まで参加希望の方に限ります。

申込フォーム▶ <https://forms.gle/fFBt5WMdpsUp4LVp6> 右記 QR コードからも簡単にお申込みできます。

E-mail▶ 以下の事項をご記入の上、＜お申込み・お問合せ先＞に記載の該当地域へお申込みください。

※件名に必ず「農業分野における「デザイン経営」の仕組みづくり支援事業」とご記載ください。



地域 該当地域に✓を入れてください	☐ 京都府	☐ 大阪府	☐ 和歌山県	〔 京都・大阪・和歌山 2府1県限定 〕
氏名（ふりがな）	事業所名	連絡先（TEL）		
住所・〒	E-mail			

(事務局より参加手続きについて改めてご連絡させていただきます。)

＜お申込み・お問合せ先＞

(一社)京都発明協会 TEL 075-315-8686

E-mail: hatsumei@ninus.ocn.ne.jp

(一社)大阪発明協会 TEL 06-6479-1910

E-mail: members@jiiiosaka.jp

(一社)和歌山県発明協会 TEL 073-432-0087

E-mail: jiiwakayama2@coral.cypress.ne.jp